

球体カメラ（RICOH THETA）使用マニュアル（案）

1. 事前準備

RICOH 公式サイトから、スマートフォン・タブレット（以下「スマホ」とします）向けアプリケーション「THETA S」をダウンロードします。THETA の撮影・閲覧・簡単な編集・投稿まで行える、無料の公式アプリです。



THETA S

THETA 本体の電源を入れます。



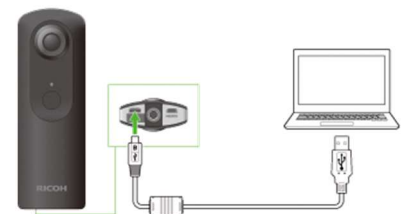
スマホと THETA は、Wi-Fi で接続します。初回の接続にはパスワードが必要になりますので、THETA の下部に記載の型番のうち数字部分（右図のB欄）を入力してください。

なお、同時に複数のスマホから接続することはできません。別のスマホに接続する場合は、一旦 Wi-Fi 接続を解除してください。



PC からも撮影した映像の閲覧・投稿は可能ですが、編集機能がないこと、投稿にあたって RICOH サイトを経由しないとイケない（Facebook へ直接投稿できない）ため、できるだけスマホをご使用ください。

PC との接続は、USB ケーブルで行います（充電も、USB ケーブルで行います）。



2. 撮影

撮影は、THETA 本体のシャッターボタンを押すか、スマホのアプリから遠隔操作するか、2つの方法で可能です（右図はスマホのアプリ操作画面）。

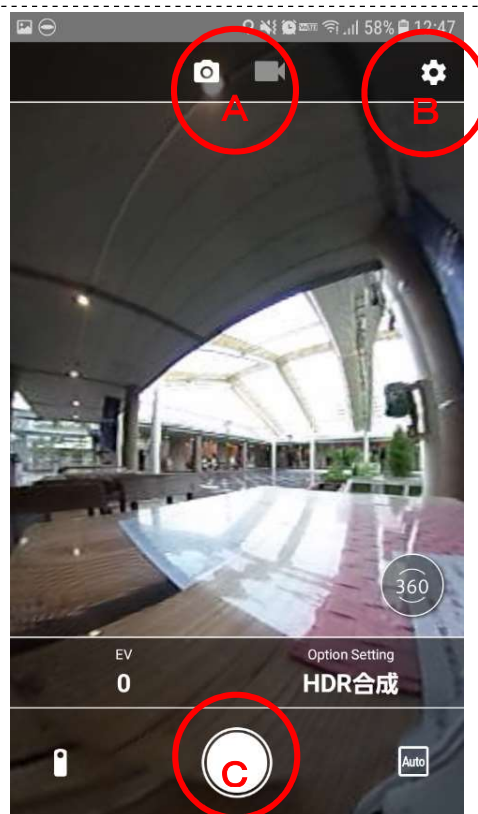
写真の場合のみ、カメラの映像を見ながら撮影が可能です（動画の場合は画面が真っ暗になります）。

なお、スマホで操作する場合、同時に複数のスマホから操作することはできません。

A：写真・動画の切り替え

B：撮影設定

C：シャッターボタン

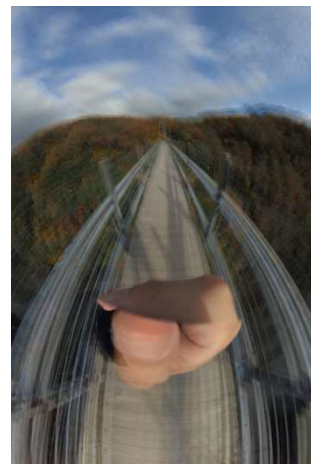


撮影設定はアプリから行えます。

セルフタイマー撮影なども行うことが可能です。



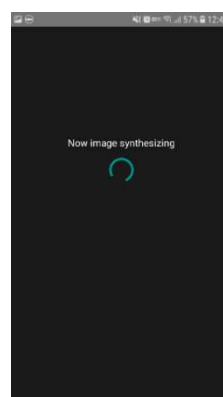
THETA 本体を手で持って撮影すると、撮影者の手が大きく映りこんでしまいます。



三脚や自撮り棒を頭の上に持ち、スマホのアプリでシャッターを押すとよいでしょう。



写真撮影時、シャッターボタンを押すと、画像処理に 30 秒程度かかります。連続撮影には不向きですのでご注意ください。



写真撮影時に被写体が動くと、ぶれてしまいます（右図参照）。動きのある場面を撮影する場合は、写真よりも動画の方がよいでしょう。



動画はファイルサイズが非常に大きくなります（1分 100MB）
ので、ご注意ください。

また、動画の撮影時間が5分を超えると、ファイルが分割される
仕様となっています。

3. 投稿

スマホから投稿する場合、まずは、THETA 本体からスマホに映像
を転送します。右図のボタンを押すと、撮影画面から閲覧画面に
切り替わります。



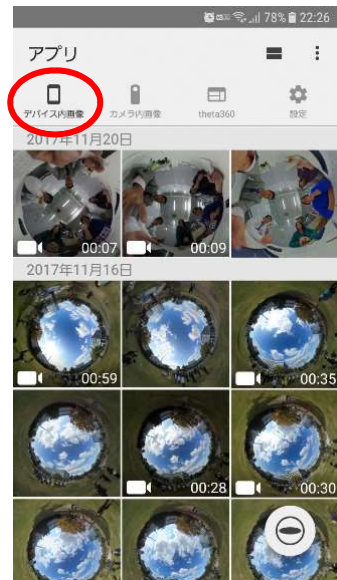
「カメラ内画像」の中からスマホに転送したい映像を選択してく
ださい。

撮影時間の長い動画の場合、転送に時間がかかりますのでご注意
ください。



「デバイス内画像」を押すと、スマホ内に転送された映像を見ることができます。

映像を編集加工する場合は、写真用のアプリ「THETA+」、動画用のアプリ「THETA+ Video」をダウンロードしてください。トリミング（動画の切り抜き）だけであれば、これらのアプリは不要です（「THETA S」で対応可能です）。



投稿したい映像を選択し、「共有」アイコンを押すことで、Facebook 等へ投稿することが可能です。

Facebook の画面から映像を選んで投稿しても、360° 映像として認識されませんので、ご注意ください。



なお、投稿するSNSごとに、事前に「共有設定」（投稿先のアカウントを、アプリに登録する）を行う必要があります。

アプリの「設定」から「共有設定」を押してください。



共有設定がされていないアプリについては、「未設定」と表示されます。



例として、Facebook であれば、右図のとおりアカウント・パスワードを求められます。投稿するアカウントの情報を入力の上、ログインしてください（別のアカウントでログインしている場合は、一旦ログアウトする必要があります）。

